

# だんだん～ありがとう～

Vol.8



(有)西原石材興業  
(0897)86-2731

「だんだん」とは、伊予弁で「ありがとう」という意味です。みなさまとのご縁に感謝をこめて・・・「だんだん」

一月は行く、二月は逃げる、三月は去ると言われていますが、このあいだ新年を迎えたと思えば、もう三月、早いものですね。

気候も良くなり、この地域でもお遍路さんの姿を多く見かけるようになりました。

お一人で、親子で、ご夫婦で、それぞれの方がそれぞれの思いを胸に！！

この度、縁あって「人を想うところ」四国のお坊さんが伝える人生で大切な四つの恩と供養の話という小冊子を読む機会がありました。

なぜ先祖供養をするのか、なぜ法事をするのか、忌日の意味、お彼岸は何をする期間なのかといった分かっているようで分からない事が分かり易く書かれていました。

また弘法大師の説かれている四つの恩、(一)ご先祖様の恩を感じていきる、(二)仏教に助けられる恩を感じて生きる、(三)生きている人の恩を感じて生きる、(四)国と社会の恩を感じて生きる。この四つの恩が分かり易く解説されています。

「恩は返さず 恩はおくるもの」これも心に残った言葉の一つです。

南無大師遍照金剛は空海さんの名前だという事、般若心経は大般若経と言う六百巻にもわたる膨大な經典のエッセンスだけを要約したものです。唱えるだけで一週間以上かかるお経です。それを二百七十六文字に短くまとめたお経が般若心経だという事です。

お布施の意味はご存知ですか。

お布施とは出家する時、持って出てよいものは四つだけでした。三つの袈裟と托鉢用の器だけです。袈裟は時が経つにつれてボロボロになりそれを見かねた町の人がそれを繕うため「せめて布だけでも」と施しました。修行者に布を施したことから「布施」という言葉が生まれたそうです。

読んでいるうちにどんどん引き込まれていく内容でした。

普段何気なく行っていることにそれぞれ意味があり、目的がある。この小冊子から多くの事を学ぶことが出来ました。

子供や孫たちに伝えて行く事が大切な事だなと思われた一冊でした。

(この「人を想うところ」を先着5名の方にプレゼント致します。ご希望の方は下記までご連絡下さい。)

(連絡先:西原石材興業 FAX:0897-84-2477まで)

## 西原の日

毎月24日(2:ニ 4:シ)を西原の日とし特別サービスデーとして工場見学、石割体験、目玉商品などいろいろな企画をして参ります。



にしはら超特級 9寸屋根付き香炉、  
霊標付一基を特別価格で提供致します。  
価格、品質、自信をもってお薦め致します。  
お問い合わせお待ちしております。

## 愛媛マラソン

去る2月4日(日)第56回愛媛マラソンに参加しました。

参加者1万367人、経済効果5億円。愛媛県知事、松山市長共に毎年完走という素晴らしい大会であります。

42.195km走るのに、体重60kgの人で2,500kcal必要と言われており、大会当日の会場は1万367人×2,500kcalという膨大なエネルギーの塊となり、ボランティアの人々、沿道の人々の間を走り抜けていく様は、圧巻でありました。

今回は社長たちが応援に駆けつけてくれ、厳しい寒さにも係わらず長い間エールを送り続けて頂き、大変力になりました。

今までは走り終わって一週間位あった足の痛みも6回目の愛媛マラソンとなると痛みもなく、

「継続は力なり」という言葉を肌で感じる結果となりました。

ボランティア、  
応援して頂いた皆様、  
ありがとうございました。

菅原博明



# 四国八十八か所巡り

今回は63番、64番札所を紹介いたします。



## 63番札所 密教山 胎蔵院 吉祥寺 (愛媛県西条市氷見乙1048)

吉祥寺は毘沙聞天を本尊としています。

毘沙聞天を本尊としている寺は四国霊場唯一で、商売繁盛にご利益があるとされています。

本尊・毘沙聞天像は秘仏で60年に一度だけ開帳されます。次回は西暦2038年とのことです。

通常、毘沙聞天は「門」の字を使いますが、ここ吉祥寺では多聞天の「聞」の字を使っています。

境内には「くぐり吉祥天女」という像があり、この下をくぐるとあらゆる貧困を取り除き、富貴財宝を授かると伝えられています。

また本堂手前にある「成就石」は高さ1mほどの石で、中央下に30~40cmの穴があいています。

本堂付近から目を閉じて金剛杖を持って石が置いてある場所まで歩いて行き、金剛杖を通せば願いが叶えられると言われています。



(成就石)

## 64番札所 石鉄山 金剛院 前神寺 (愛媛県西条市洲之内甲1426)

前神寺は、山岳信仰の山として崇拜される富士、大山など日本七霊山の一つ、国定公園・石鎚山(標高1982m)の麓にあります。

本堂へ向かう途中にある浄土橋を渡ると、石段の右手に「御滝不動尊」があります。1円玉を投げてくっつくとご利益があるといわれています。

また、前神寺付近にある「星加のゆべし」。

ゆべしとは、餅の粉、米の粉、砂糖、白味噌、柚子を練り込んだものを、天然の竹皮で包み蒸し上げたものです。慶応3年の創業で、西条藩主 松平左京夫公に献上されました。モチモチの食感と口に広がる柚子の風味が地元でも永く愛されています。



(星加のゆべし)

お問い合わせ・資料請求等はお気軽に  
(0897)86-2731

HPからもアクセスいただけます。

<http://www.nishihara-sekizai.com>